令和8年度　水戸市立五軒小学校　グランドデザイン

＜本県の教育目標＞
ひとりひとりの能力を開発し
　豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
　たくましい心を養う
郷土を愛し
　協力しあう心を育てる

いばらき教育プラン

五軒小学校　学校教育目標

**夢に向かってチャレンジする
五軒健児の育成
～未来を拓く「個が育つ」
学校づくりを目指して～**

＜水戸市の教育目標＞
知性にとみ、心身ともに健全な風格をそなえた人間（水戸人）の形成につとめる
＜基本理念＞
水戸を愛し、世界で活躍できる人材の育成

規律と協働を高める八策

目指す学校像

- ○　子どもの「声」が響く学校
- ○　安全で安心できる学校
- ○　家庭や地域から信頼される学校

目指す五軒健児の姿

- ○　夢や目標に向かってチャレンジする
- ○　礼儀正しく他人を思いやる
- ○　よく考え工夫する
- ○　みんなのために働く
- ○　明るく元気にやりぬく

目指す教員の姿

- ○　人間性豊かで高い使命感をもつ
- ○　一人一人に寄り添い信頼関係を築く
- ○　効果的な学びをデザインする
- ○　実践的専門性を高める
- ○　学校教育目標の具現化に資する

＜組織目標＞
「つなげる」「つながる」場の工夫

＜グループ目標＞
低学年　：みんなの「なぜ？」（問い）を学習課題へとつなげる場の工夫
中学年　：「できた」「分かった」を共有できる場の工夫
高学年　：「気付き・発見」を「もっと知りたい」へつなげる場の工夫
特別支援：自立を促す「スモールステップ」の場の工夫

心のプロジェクト

＜豊かな心を育む＞
- ○　共感的な人間関係を育む集団づくり
  - ・道徳科を要とした道徳教育の充実
  - ・自己肯定感を高める「五軒VOICE賞」
- ○　コミュニケーション能力の向上
  - ・交わし合う「あいさつ」
  - ・自己有用感を高める異年齢集団活動
- ○　郷土を愛し、豊かな感性を磨く取組
  - ・「偕楽園記」の暗唱
  - ・地域の教育力を生かした体験活動
- ○　多様な学びの充実
  - ・国際教育の推進

知力のプロジェクト

＜確かな学力を育む＞
- ○「できた」が実感できる学びの展開
  - ・ICTの効果的な活用
  - ・探究的な学びの実践
- ○　基礎的・基本的内容の定着
  - ・「オリンピックテスト」の活用
  - ・家庭学習の充実（復習・反転学習）
- ○　一人一人の教育的ニーズに応じた学びの充実
  - ・実態に応じた指導方法の工夫・改善
  - ・特別支援教育の推進体制の構築

活力のプロジェクト

＜健やかな体を育む＞
- ○　体育活動の充実
  - ・体育科授業における運動量の確保
  - ・「外遊び」の推進
- ○　健康であるための自己管理能力を育てる取組
  - ・「健康タイム」の活用
  - ・保健教育および食育指導の実施
- ○　安全能力の育成
  - ・安全教育（生活、交通、災害）における実践的・体験的な活動の実施

厚い信頼　～　学校という場所の価値を支える根幹に「つなげる」「つながる」共有と交流　～

○　安全・安心の確保
- ・「自分らしく輝ける」安心して学び合える集団づくり
- ・食物アレルギーへの対応
- ・オンライン相談窓口と心の健康観察の実施
- ・ＳＣ等、相談体制の充実
- ・安全点検、訓練及び保護者、地域、外部機関との連携
- ・「いじめ防止対策委員会」の定期的な開催

○　社会に開かれた教育課程
- ・地域や保護者との連携　・パートナーとしての地域連携：ふぁいぶたうんコミュニティ、五軒手をつなぐ親の会
- ・学校運営協議会 の開催　・教育活動の積極的な情報発信　・スクールボランティアによる学習支援
- ・学校評価を生かした工夫・改善　・保幼小、第二中学校区小中、小高連携の推進　・地域学校協働活動

○　教職員の服務規律確保の取組
- ・計画的なコンプライアンス研修の実施　・情報の共有と風通しのよい職場環境づくり　・「自分事として考える」意識の強化

教職員の資質・能力の向上　～　学校全体のレベルアップに「つなげる」「つながる」教職員の学び　～

- ○　校内研修　：学力向上を目指した算数科学習指導のあり方（基礎基本の定着、授業改善）
- ○　「研修履歴の活用」とキャリアステージに即した研修機会の確保
- ○　教員評価を生かした人材育成

働き方改革：児童と向き合う時間の確保　～　教育の質の維持・向上に「つなげる」「つながる」教職員の笑顔と活力　～

- ○　ワーク・ライフ・バランスの確立
- ○　時間外勤務時間の把握
- ○　業務改善の推進（効率化、教育DX）
- ○　メンタルヘルスの維持
- ○　働き方改革委員会による推進